

## 【2024年3月新着図書案内】

# 情報コーナーに新しい図書が25冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『三淵嘉子・中田正子・久米愛 日本初の女性法律家たち』	佐賀千恵美著	日本評論社	2023	327.1サ アカ	日本で初めて女性で弁護士になり、その後、女性初の裁判所長や弁護士会会長になるなど、女性法律家の先駆者として活躍した3人の足跡。『華やく女たち 女性法曹のあけぼの』復刻版。
『フェミニスト経済学 —経済社会をジェンダーでとらえる』	長田華子、金井郁、 古沢希代子編	有斐閣	2023	331ナ アカ	フェミニズムの視点から経済学をとらえたフェミニスト経済学の教科書。経済社会におけるジェンダーの作用を追究することで、すべての人のウェルビーイング(暮らしぶりの良さ)の向上をめざす。
『自分らしく生きるためのエッセンス 挑戦し続ける20人の女性起業家が伝える』	Rashisa出版編	Rashisa出版	2023	335.1ラ アカ	「自分らしく生きる」とはどのようなことなのか。起業前や起業後の苦労話など、今なお挑戦し続ける女性起業家が綴るそれぞれの物語。
『企業ではたらく20人の女性リーダー —自分らしい最高のキャリアの作り方』	wiwiv著	経団連出版	2024	336.3ウ アカ	日本企業の多様な業種でリーダーや管理職・役員として、また、男性がマジョリティの理系、土木・建築、物流などの分野でプロフェッショナルとして活躍する女性たちへのインタビュー。
『エッセンシャルワーカー —社会に不可欠な仕事なのに、なぜ安く使われるのか』	田中洋子編著	旬報社	2023	366.0タ ミズイロ	社会に必要不可欠な仕事をしているエッセンシャルワーカーについて、現状と変化を分析。働き方の悪化をもたらした歴史的要因を考察し、ドイツを例にした国際比較から改善の道を論じる。
『ゼロからはじめる女性学 —ジェンダーで読むライフワーク論』	天童睦子著	世界思想社	2023	367.1テ ミドリ	日本女性のライフコースの変化、フェミニズムの歴史、労働・生活時間の現状など、女性学・ジェンダー論・フェミニズムのポイントをおさえるためのガイドブック。
『10代のうちに考えておきたい ジェンダーの話』	堀内かおる著	岩波書店	2023	367.1ホ ミドリ	ジェンダーから見えてくる現代社会の様相を取り上げ、ジェンダーによってもたらされている課題等を探ることで、すべての人が自分らしくいられるために必要なことについて考える。
『これからの時代を生き抜くための ジェンダー&セクシュアリティ論入門』	三橋順子著	辰巳出版	2023	367.1ミ ミドリ	「性」を考えることの意味やジェンダー、セクシュアリティについて、日本初のトランスジェンダーの大学教員である著者が、大学の講義録をもとに執筆した入門書。
『「源氏物語」の時代を生きた女性たち』	服藤早苗著	NHK出版	2023	367.2フ ミドリ	歴史的な文学作品を残した紫式部をはじめとする平安期の女性たちは、何に悩み、何を考えていたのか。平安京で生活した女性たちの結婚や子育て、仕事、老後など様々な角度から眺める。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『「ものづくり」のジェンダー格差 —フェミニナイズされた手仕事の言説を めぐって』	山崎明子著	人文書院	2023	367.2ヤ ミドリ	近代から現代まで、手芸や工芸を中心とするものづくりや手仕事に関する言説と表象について論じ、隠されたジェンダー構造を明らかにする。
『論点・ジェンダー史学』	山口みどり、弓削尚子、 後藤絵美他編著	ミネルヴァ書房	2023	367.2ヤ ミドリ	アジア、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカを中心に、社会、家族、文化、政治などから精選した全113のジェンダー史研究の論点と、時代や地域の特色ある36のコラムを収載する。
『50代で一足遅れてフェミニズムを知った 私がひとりで安心して暮らしていくために 考えた身近な政治のこと』	和田静香著	左右社	2023	367.2ワ ミドリ	女性が1人で暮らす者後に不安を感じた著者が、町会議員が男女同数という議会を20年以上も続けてきた町を取材。そこで感じたこと、気付いたことを記したエッセイ集。
『妻に稼がれる夫のジレンマ —共働き夫婦の性別役割意識をめぐって』	小西一禎著	筑摩書房	2024	367.3コ キヨ	休職・退職して妻の海外赴任に同行した駐夫(ちゅうおつ)経験者と、キャリアを重ねる妻を持つ夫たちへのインタビューから見えてくる、男らしさをめぐる葛藤と新たな夫婦像やキャリア形成観。
『男が男を解放するために 非モテの品格・大幅増補改訂』	杉田俊介著	Pヴァイン	2023	367.5ス ミドリ	男性にとって弱さとは何かを主題に、自分の内なる男性嫌悪、自分の弱さを認められないといった男性の生きづらさに向き合う。
『ルポ歌舞伎町の路上売春 それでも「立ちんぼ」を続ける彼女たち』	春増翔太著	筑摩書房	2023	368.4ハ オレンジ	様々なリスクがあるにもかかわらず、なぜ路上売春を続けるのか。60人以上の女性たちのほか、支援団体や取り締まる警察など、多角的に取材したルポルタージュ。
『男性の性暴力被害』	宮崎浩一、西岡真由美著	集英社	2023	368.6ミ オレンジ	男性の性暴力被害がいかに見えなくされてきたのかという社会との関連や被害の実態、心身への影響などを明らかにし、どうすれば被害者が生きのびることができるのか、周囲の支援にもふれる。
『障害があり女性であること —生活史からみる生きづらさ』	土屋葉編著	現代書館	2023	369.2ツ ピンク	当事者の語りから経験についての記述を積み重ね、読み解くことで、障害のある女性の生きづらさや差別の実態にアプローチし、差別を生みだす社会の構造について考える。
『中受離婚 夫婦を襲う中学受験クライシス』	おおたとしまさ著	集英社	2023	376.8オ ギン	受験期間中のすれ違いから、子供は合格したにもかかわらず破綻した3組の夫婦。取材をもとにした、夫・妻・子それぞれの立場から語られるセミ・フィクション。
『なぜ東大は男だらけなのか』	矢口祐人著	集英社	2024	377.2ヤ ギン	学生の男女比が約8対2である東京大学。男性中心キャンパスが形成されてきた歴史や国際比較から、日本社会の男女平等を考える課題として、東大が直面する男女間の不均衡を浮き彫りにする。
『女性の体のきほん 生理痛・PMSから、妊娠・出産、 更年期まで』	稲葉可奈子監修	ナツメ社	2024	495イ オレンジ	生理、妊娠・出産、更年期、女性によくある不調と病気などについて、産婦人科医が解説する。
『これからの人生と生理を考える』	伊藤華英著	山川出版社	2023	495.1イ オレンジ	競泳元オリンピック日本代表の著者が、「人生」と「生理」をキーワードに、自身の競泳人生を振り返り、基本的な生理の知識などを解説。人生と生理を考え、行動するためのヒントを届ける。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『女子鉄道員と日本近代』	若林宣著	青弓社	2023	686.3ワ ミズイロ	明治初期から存在した女性鉄道員。その勤務実態や男性職員との差別的な労働条件など、女性鉄道員とそれにまつわる出来事を、当時の社会状況とともに追う。
『彼女たちのまなざし 日本映画の女性作家』	北村匡平、児玉美月著	フィルムアート社	2023	778.2キ チャイロ	日本映画における女性監督の歴史、重要な功績を残した16名に関する作家論、さらに、次世代を担う新しい監督たちがどのような映画を撮っているのかにも迫る。作品ガイド収録。
『小山さんノート』	小山さんノート ワークショップ編	エトセトラ ブックス	2023	916コ チャイロ	公園のテント村で暮らしていたホームレスの女性が書き遺した80冊を超えるノート。そこから抜粋した日々の記録と、文字起こしをしたワークショップメンバーによるエッセイ。
『化学の授業をはじめます。』	ボニー・ガルマス著 鈴木美朋訳	文藝春秋	2024	933.7ガ チャイロ	1960年代アメリカ。優秀な化学者だったが無職のシングルマザーになってしまった主人公が得た仕事は、料理番組の講師役。科学的に料理を教えようとする姿が、視聴者の心をつかみ…。